

「阿波ふうど情報」

(Vol.101)

阿波ふうど
AWA FOOD

発行：とくしまブランド推進機構

連絡先：電話088-634-2667

住所：徳島市北佐古1番町5-12 JA会館3階

http://www.tokushima-kousha.jp/brand/

◆阿波パスタ(仮称)プロジェクトの取り組みについて

とくしまブランド推進機構と「ターンテーブル(東京・渋谷)」は、はなみち農園(美馬市)と連携し、「**県産のパスタ小麦**」の産地づくりに取り組んでいます。

またパスタ料理の原材料まで県産にこだわることで、県産食材の「**新たな魅力**」を首都圏の消費者に発信することを目的に「**阿波パスタ(仮称)プロジェクト**」を立ち上げ、「**小麦生産からパスタメ**
ニューづくりまで」一貫した取り組みを関係者らと連携して行っています。

この度、ターンテーブルと県内飲食店が協力し、製麺テスト及び県産小麦の特徴を活かしたメニュー開発を行い、「**県産食材をふんだんに使ったパスタメニュー(3品)**」を考案しました。

今後、更なるメニュー開発を進め、今年度中にターンテーブルで行うイベントなどで提供される予定です。



(阿波美豚のベーコン入りトマトソースパスタ)



(阿波尾鶏の和風パスタ)



(県産シラスをふんだんに使ったペペロンチーノ)

◆横浜(野毛地区)での「阿波尾鶏メニューフェア」開催について

とくしまブランド推進機構及びターンテーブル(東京・渋谷)は株式会社丸本(海陽町)と連携し、「**横浜(野毛地区)での「阿波尾鶏メニューフェア」**」を開催しました。(10月1日から)

同フェアは大消費地「横浜」における阿波尾鶏の認知向上と販路拡大を目的に、ターンテーブルが声掛けした飲食店(約50店舗)を中心とした**合同メニューフェア企画**で、各店舗が考案した**阿波尾鶏のモモ肉**を使った**オリジナルメニューの提供**及び**SNS等での情報発信**がされました。

またフェアに参加した店舗オーナーからは、「**抜群の旨みと歯応えがあり、鶏肉の美味しさが感じられる**」などの**高い評価**をいただきました。



(SNSを活用して情報発信する「阿波尾鶏メニューフェア」参加店舗の関係者)



(「阿波尾鶏メニューフェア」PRポスター)

横浜(野毛地区)は1日の乗降客数230万人の横浜駅やみなとみらいに直結する**横浜随一の食の発信地**で、鶏料理を提供する店舗が多いことから「**焼鳥の街**」とも言われており、今後の展開が期待されています。